

仙台で働きたい！プロジェクト事業企画提案書作成等に関する質問への回答

質問	回答
①「仙台で働きたい！」ウェブサイトとは別にイベント告知用の特設サイトは必要でしょうか。	①特設サイトの作成は必須ではございません。 ただしご提案頂く実施内容等を踏まえ、特設サイトの作成が必要と考える場合には、提案内容に加えて頂いて差し支えございません。
②令和4年度同様にみやぎジョブカフェや他の就業支援事業との同時開催を提案しても良いでしょうか。	②他機関の事業との同時開催をご提案頂くことも可とします。
③就業体験事業の合同説明会はオンライン開催が必須でしょうか。オンライン、リアル両方で開催してもよろしいでしょうか。	③今年度は大学と相談し、学生がより参加しやすい方法として、オンライン開催とした経緯がございます。 オンラインの方が効果的に出来ると考えており、次年度もオンライン開催で考えております。 リアル会場を設けることは方法の1つとして可とします。
④今年度の合同説明会参加者と、マッチングに申し込んだ方の人数を教えてください。	④合同説明会参加者は実数で154名、マッチングに申し込んだ方は55名です。
⑤就業体験事業の合同説明会は複数日開始してもよろしいでしょうか。開催した場合、その合計数で参加目標数150名以上を達成すればよいという理解でよろしいでしょうか。	⑤複数日で開催して差し支えございません。その際、参加者数は実数でカウントしてください(例:2日間開催で、同じ学生が1日目・2日目両方に参加した場合、1名と計上)。
⑥就業体験成果報告会の開催形式はリアル形式、オンライン形式どちらでも良いでしょうか。	⑥リアル形式、オンライン形式いずれでも可とします。 ただし、成果報告会は就業体験(事業)に参加した学生・企業が得られた知見や反省を共有するために実施するものであることをふまえ、対象者が参加しやすい開催方法としてください。
⑦マッチングイベントの参加目標数150名以上にしても、参加者は実数でカウントでしょうか。	⑦マッチングイベントに関しても実数でカウントしてください。